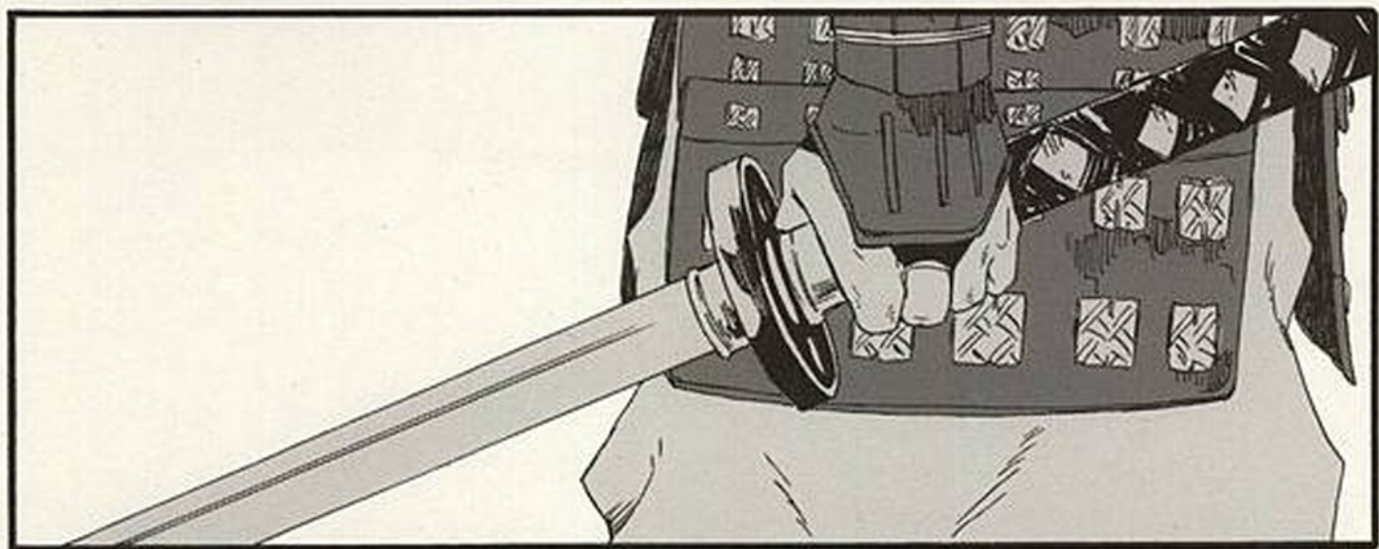
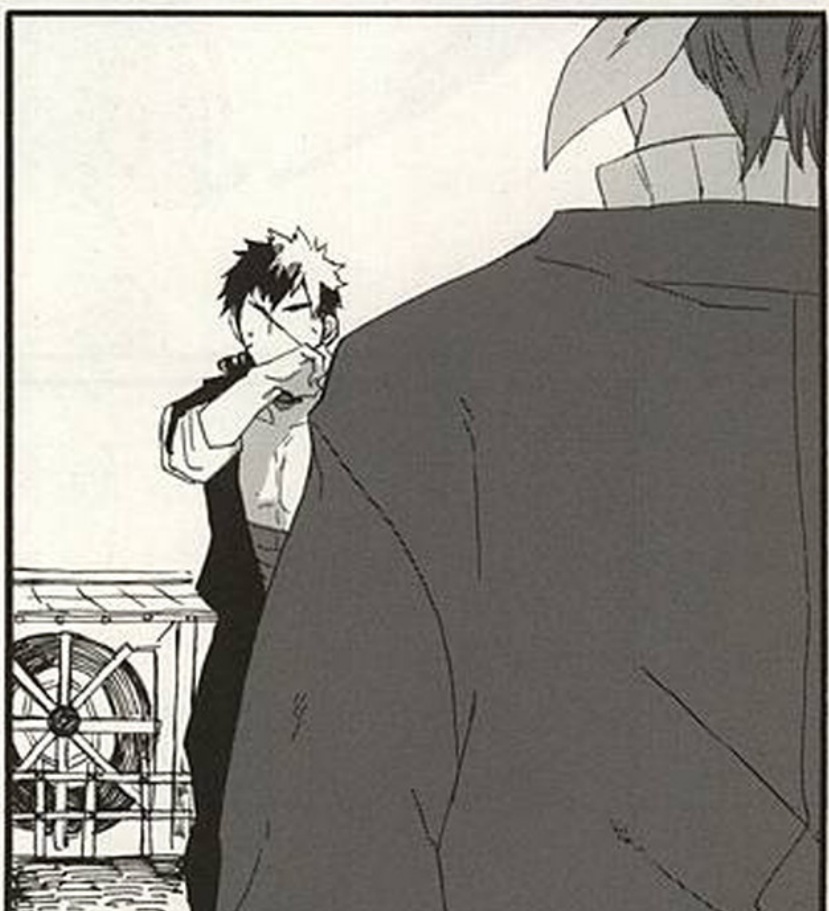
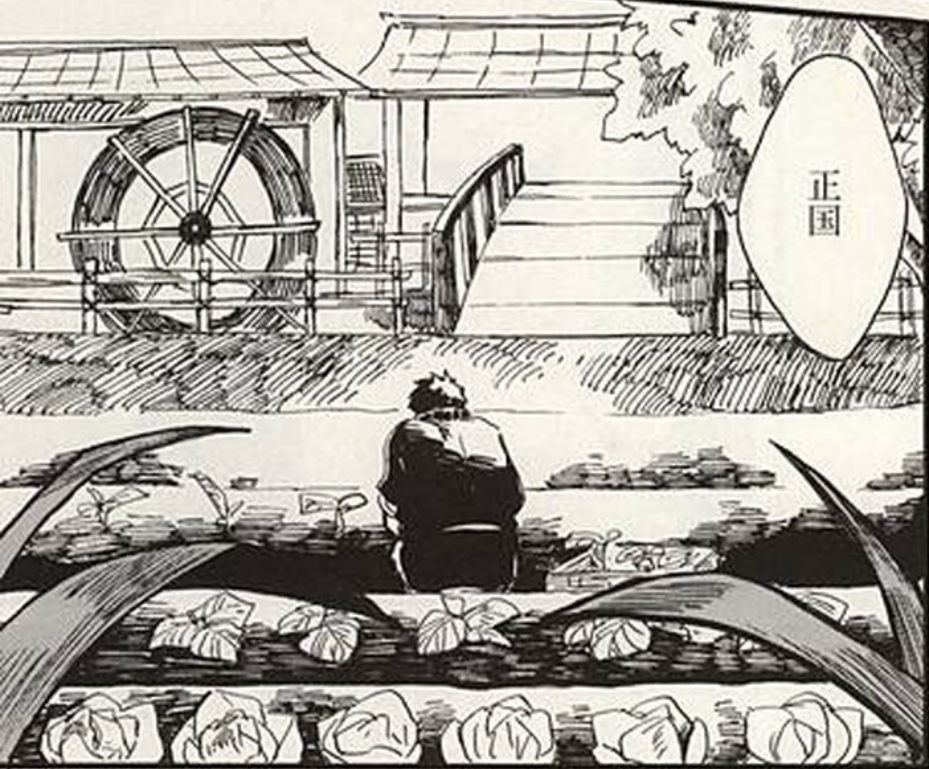


鋼
の
熱

成人向



忘れていた人肌を思い出す







俺に
触られるのは
好きか



ああ

その言葉の
先の意味も

わからぬ程
子供では
無かった様で



そうだなあ



どうやら
俺は

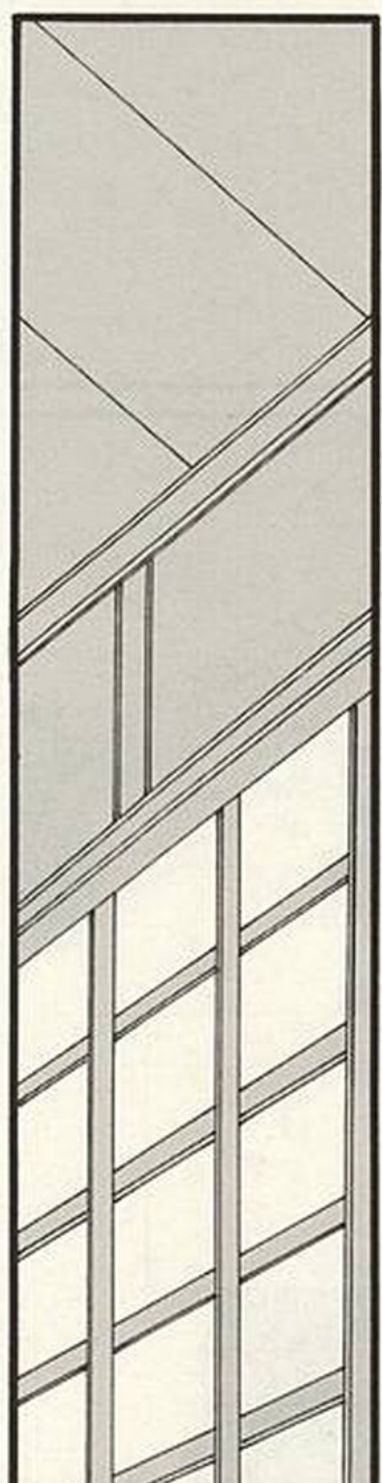
700



どうやら
そうみてえだ

ならば

何を断るのか



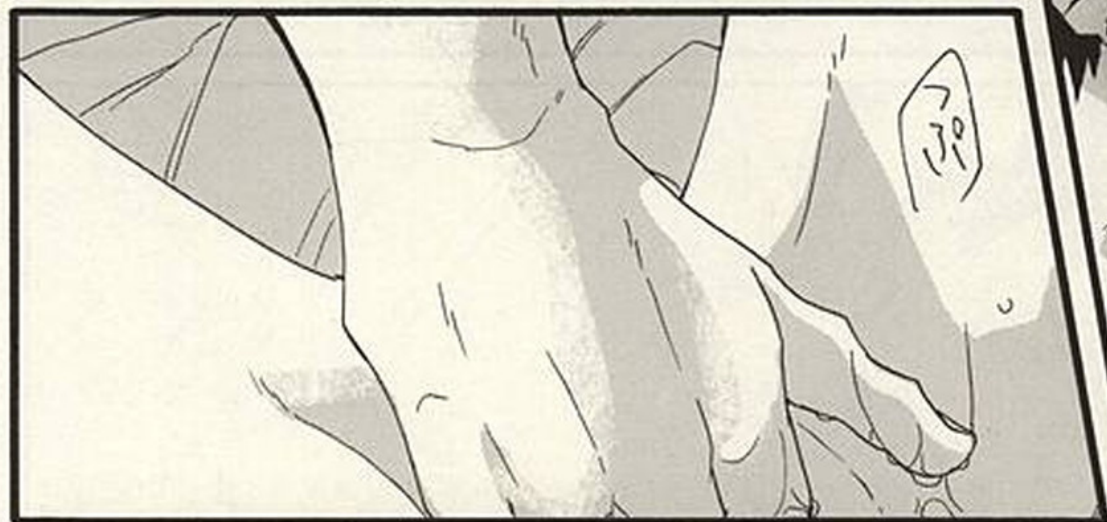




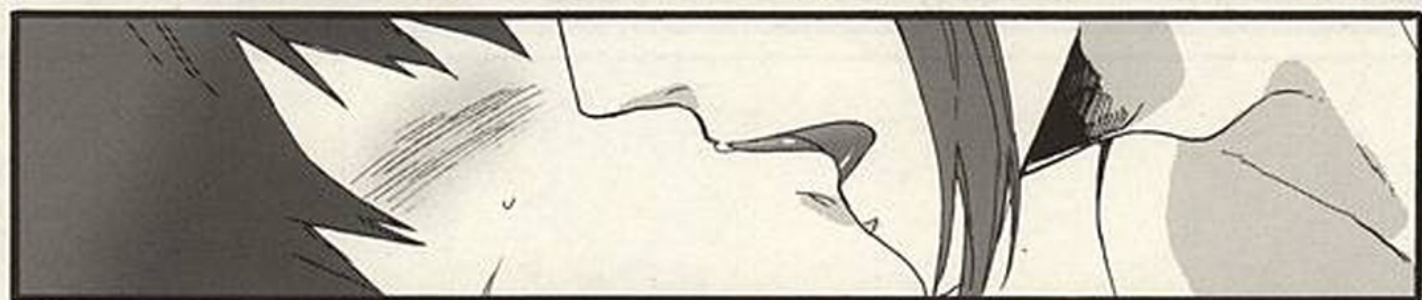
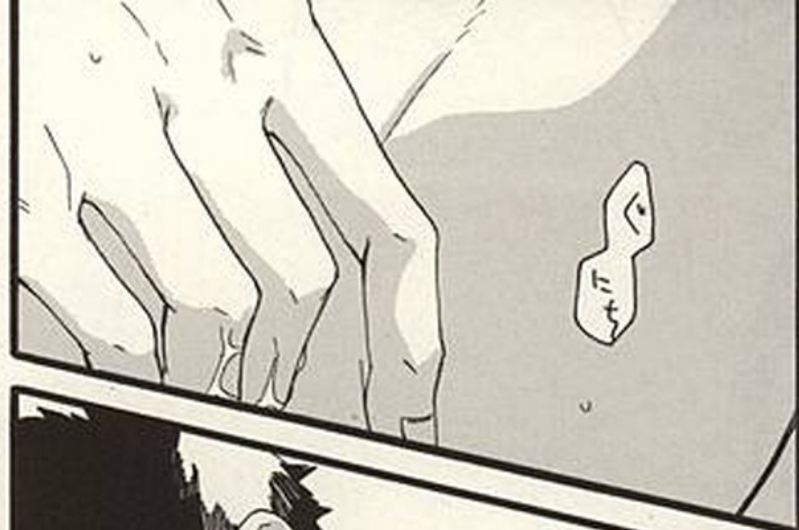


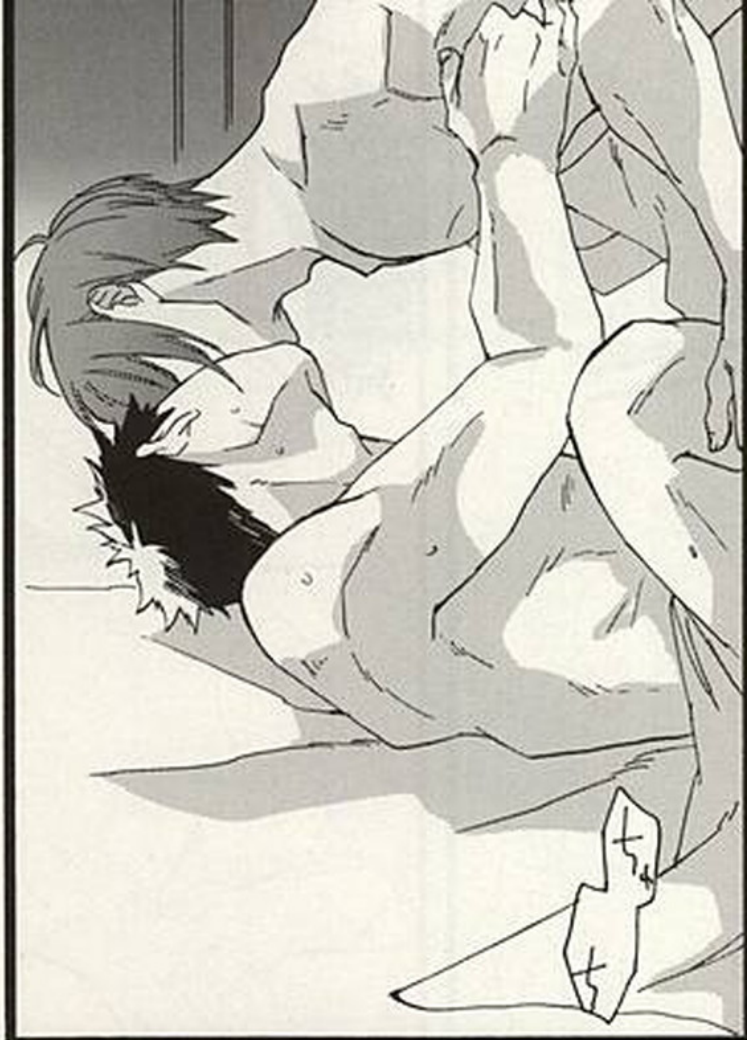






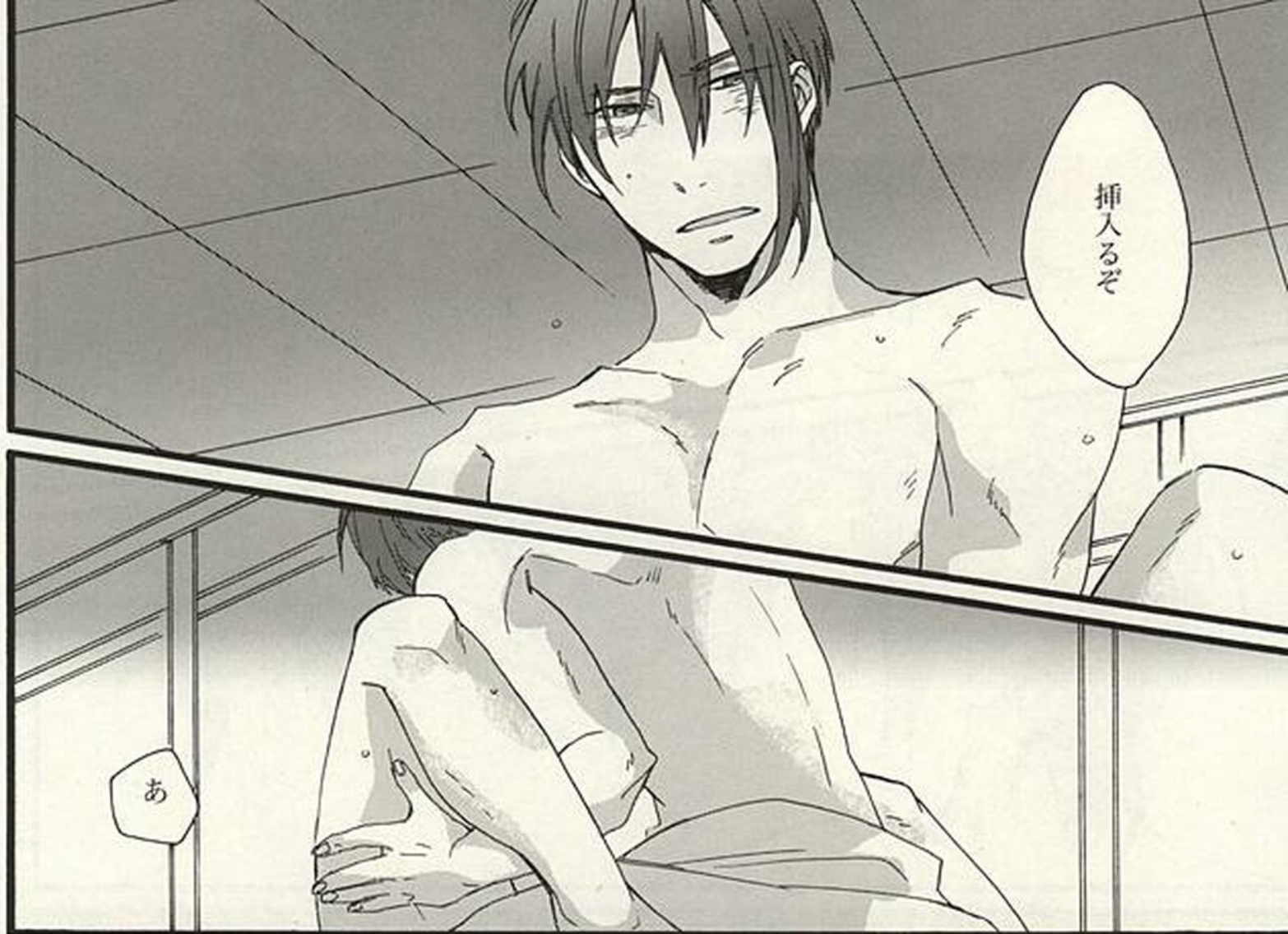


















…正国



ああ
でも…

鋼を打つ
熱とは違う
それは

ひどく
心地よかった



己が得てしまった
この肉体は

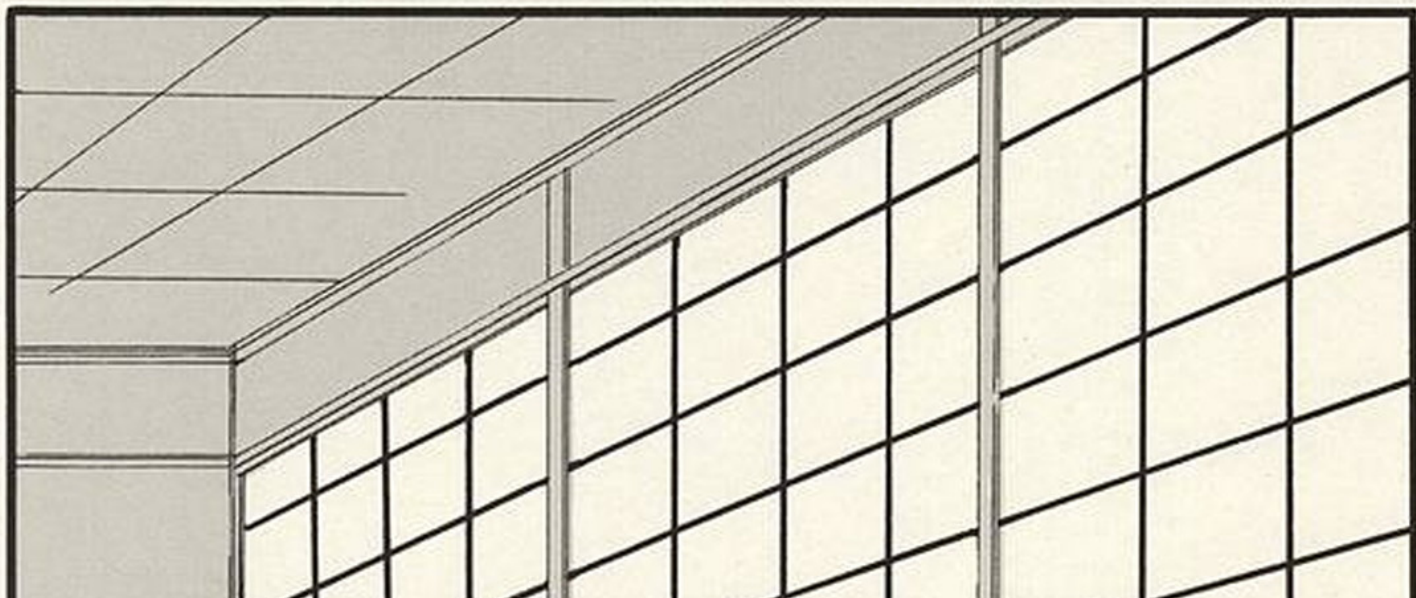
もうこの男にしか
それを許しはしないのだろう



それを

愛というのか
己にはまだ

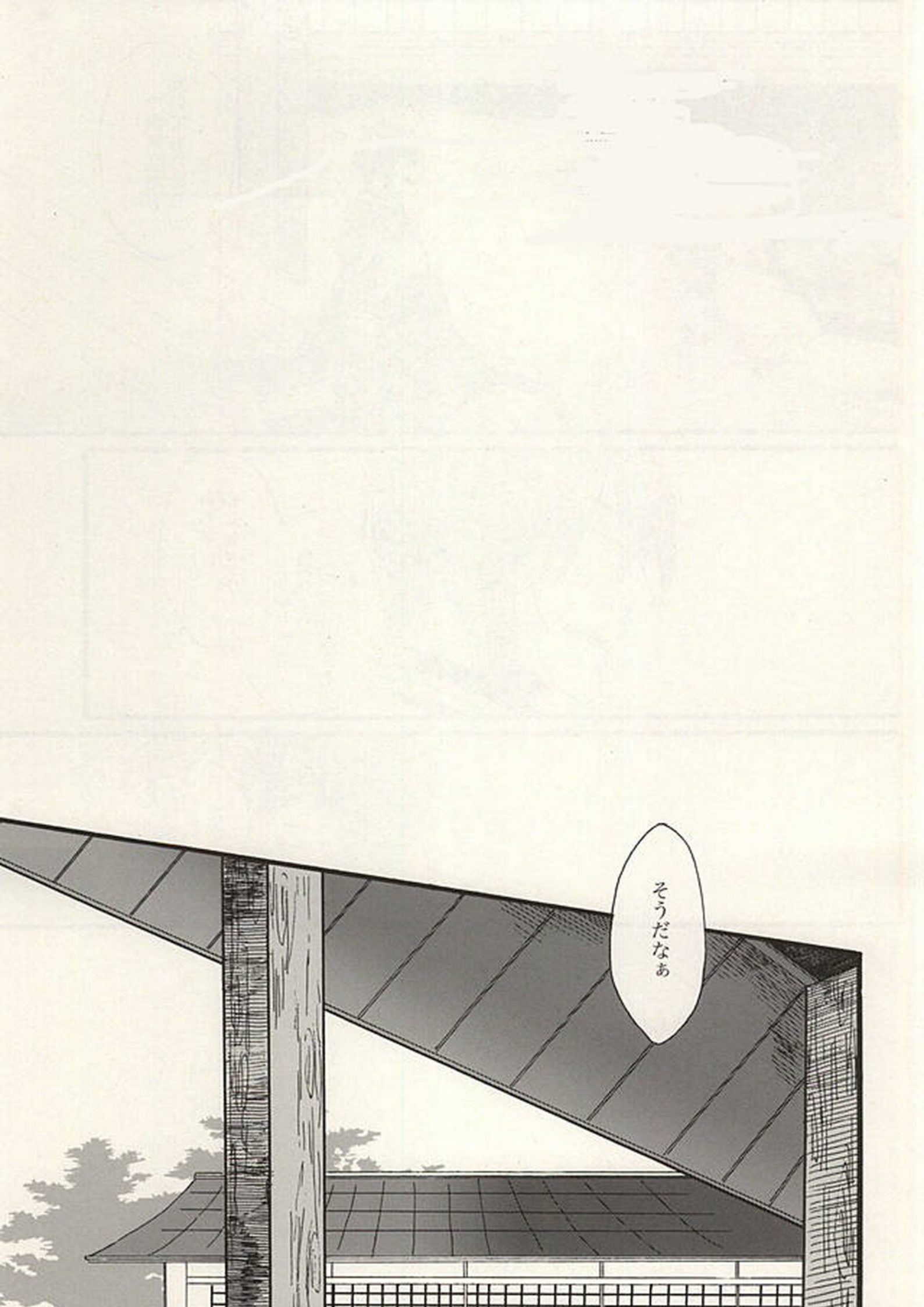
そうと
言い切る自信は
無いのだが







己を満たしているのは
確かにこの男だった



そうだなあ



一つ惚気話でも
聞いてもらおうか



あの子は
口にはせんし
もしかしたら
自覚すら
しておらんかも
しれん



だが

俺は確かに
あの子に
愛されてるよ



銅の熱
刀劍乱舞
三秒／＃参
二〇一五年一〇月十一日
三日月宗近*同田貫正国